

平成 2 2 年度
港湾空港局予算要求方針

【目次】

1	平成 2 2 年度港湾空港局予算要求総括表	1
2	平成 2 2 年度港湾空港局経営方針	3
3	重点的に取り組みを行う主なもの	4
4	事務事業の見直し等	1 0

1 平成22年度港湾空港局予算要求総括表

【一般会計】

平成22年度要求総額 6,232,064千円
 (平成21年度予算額 5,490,593千円)
 前年度比 +13.5%

《主な事業》

単位：千円)

事業名	平成22年度 予算要求額 (A)	平成21年度 予算額 (B)	増 減 (A - B)
国直轄事業負担金	2,937,500	2,334,000	603,500
北九州港港湾計画改訂 事業	40,000	65,000	25,000
北九州空港アクセス 事業	240,000	245,000	5,000
市民参加による魅力的な 水際線づくり	117,600	285,500	167,900
旧大連航路上屋改修 事業	350,000	2,000	348,000
川代泊地環境恒久対策 事業	23,000	10,000	13,000
モーダルシフト推進 補助事業	19,800	10,000	9,800
グリーンエネルギーポート ひびき立地促進事業	22,347	0	22,347

【港湾整備特別会計】

平成22年度要求総額 10,267,659千円
 (平成21年度予算額 10,481,000千円)
 前年度比 2.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成22年度 予算要求額 (A)	平成21年度 予算額 (B)	増 減 (A - B)
ターミナル稼働安定化事業	89,000	140,000	51,000
北九州港利用促進補助事業	54,600	60,000	5,400
響灘東埋立地整備事業	326,000	280,000	46,000
響灘西埠頭用地整備事業	113,000	131,000	18,000
新門司埠頭用地整備事業	176,000	90,000	86,000
太刀浦埠頭用地整備事業	184,000	167,000	17,000
公債償還に係る経費	6,892,776	7,788,644	895,868

【空港関連用地整備特別会計】

平成22年度要求総額 7,955千円
 (平成21年度予算額 60,000千円)
 前年度比 86.7%

【臨海部産業用地貸付特別会計】

平成22年度要求総額 214,753千円
 (平成21年度予算額 365,800千円)
 前年度比 41.3%

2 平成22年度港湾空港局経営方針

港湾空港局では、以下に掲げる3つの目標を達成することを経営戦略として、平成22年度の事業に取り組みます。

1 21世紀のものづくりを支える物流拠点都市づくりの推進

➤ 都市基盤としての「みなとの充実」を図ります。

「北九州港」と「北九州空港」という、海と空の「みなと」の機能強化や充実を図るとともに、「環境モデル都市・北九州市」としてふさわしい環境に配慮した物流体系を構築します。

また、企業立地に必要な基盤整備、公共交通の利便性の向上、環境に配慮した公共交通体系の構築を目指します。

➤ 北九州港における港湾需要の拡大を目指します。

航路の誘致や企業の誘致を積極的に進めることにより、地域経済の活性化、雇用の拡大、税収の確保を図ります。

➤ 北九州空港における航空需要の拡大を目指します。

新規路線の開設、貨物拠点化を進めるとともに、羽田空港の発着枠増を念頭において、航空需要の拡大を図ります。

2 市民の憩う「みなとまちづくり」の推進

➤ 市民が憩い、賑わう「みなとまちづくり」を推進します。

市民に親しまれる効果的な「みなと」の振興・PRや水際線づくりを推進するとともに、魅力ある世界の環境首都の実現に向けた取組みを進めます。

3 効率的で安全・安心な港湾経営の実現

➤ 港湾施設を有効活用し、経費削減を図るとともに、効率的で安全・安心な管理運営を目指します。

港湾施設の整備・修繕に係る総経費を削減するとともに、臨海部の施設の再編に取組み、港湾空間の効率的な利用を推進します。

➤ 港湾整備特別会計の経営安定化を図ります。

本市の経済発展にかかる基盤整備を実施してきた港湾整備特別会計について、幅広い観点からの施策により、経営安定化を図ります。

3 重点的に取り組みを行う主なもの

1 21世紀のものづくりを支える物流拠点都市づくりの推進

北九州港・北九州空港の機能強化や充実により、港湾・航空需要の拡大を図るとともに、企業立地に必要な基盤整備等を実施します。

また、「環境モデル都市・北九州市」としてふさわしい環境に配慮した物流体系を構築します。

(1) 物流機能の充実強化

「みなと」の利用者のニーズに即応した施設の整備を行うとともに、太刀浦地区と響灘西地区のコンテナターミナルの機能拡充を図るため、荷さばき地や背後地の整備を行います。

また、国が行う新若戸道路等の整備や北九州空港の整備事業について、地元負担を行います。

(-2・継続) 港湾改修(特重)事業	200,000 千円
(-2・継続) 響灘西埠頭用地整備事業(港湾特会)	113,000 千円
(-2・継続) 新門司埠頭用地整備事業(港湾特会)	176,000 千円
(-2・継続) 太刀浦埠頭用地整備事業(港湾特会)	184,000 千円
(-2・継続) 国直轄事業負担金	2,937,500 千円
(-2・継続) 空港整備事業地元負担金	57,867 千円

(2) 環境にやさしい物流の推進

物流におけるCO2削減を推進するため、現行の「モーダルシフト推進事業」を拡充するとともに、民間の物流改善の取組みに対する支援の強化や中長距離フェリー事業者の経営支援を行います。

〔 -2・継続・拡充 -2・継続・拡充 〕	モーダルシフト推進補助事業	19,800 千円
	〔 -2・新規 -2 〕	北九州港を利用した物流改善支援事業
〔 -2・新規 -2 〕		フェリー経営支援事業

(3) 産業空間の創出

物流機能の強化と併せて、企業活動の拠点としての臨海部の積極的な利活用を推進し、企業ニーズに対応した産業用地の確保、環境の向上に資する緑地の整備を行います。

(- 1 ・ 継続) 港湾環境整備事業	110,000 千円
(- 3 ・ 継続) 新門司埋立地造成事業 (港湾特会)	264,650 千円
(- 3 ・ 継続) 響灘西埋立地造成事業 (港湾特会)	128,700 千円
(- 1 ・ 継続) 響灘東埋立地整備事業 (港湾特会)	326,000 千円

(4) 防災対策の充実

災害に強い都市づくりの一環として、臨海部における高潮等の災害から市民の生命や財産を守るための護岸や緑地の整備を進めます。

(- 4 ・ 新規) 川代泊地環境恒久対策事業	23,000 千円
(- 1 ・ 継続) 港湾環境整備事業 (再掲)	110,000 千円
(- 3 ・ 継続) 海岸 (高潮) 事業	120,000 千円

(5) 廃棄物処分場の整備及び確保

廃棄物の適正処理のため、響灘地区廃棄物処分場の維持管理及び臨海部の廃棄物処分場の確保のための調査等を行います。

(- 4 ・ 継続) 廃棄物処分場整備事業	57,000 千円
(- 4 ・ 継続) 廃棄物処理事業	45,000 千円

(6) 都市基盤としての「みなと」の充実

本市の経済活性化、雇用の創出、市民に親しまれる港づくりを図るため、社会経済情勢の変化や市民・企業ニーズの変化に合わせて、策定から 10 年以上経過した港湾計画の見直しを行います。

(- 2 ・ 継続) 北九州港港湾計画改訂事業	40,000 千円
---------------------------	-----------

(7) 総合的な物流施策の推進

社会状況の変化を捉えた先進的な物流システムについて調査研究を行うと共に、本市が有する物流施設の利活用などを推進し、企業ニーズに応えられる総合的な物流施策に取り組みます。

(- 1 ・ 継続) 物流拠点都市づくり推進事業	13,320 千円
----------------------------	-----------

(8) 北九州港の利用促進

北九州港の利用促進に向けた集貨・創貨、航路誘致などを促進する施策を実施します。また、北九州港の貨物取扱量の増加やコンテナターミナル稼働の安定化を図るための助成を行います。

(- 2 ・ 継続) 北九州港官民連携事業	13,421 千円
(- 2 ・ 継続) ポートセールス事業	12,550 千円
(- 2 ・ 継続) 北九州港 P R 事業	7,747 千円
(- 2 ・ 継続) 北九州港利用促進補助事業 (港湾特会)	54,600 千円
(- 2 ・ 継続) ターミナル稼働安定化事業 (港湾特会)	89,000 千円

(9) 企業立地 (創貨) の推進

北九州港の利活用を促進し、雇用創出、地域経済の活性化を図るため、企業誘致活動を積極的に行い、臨海部産業用地への企業立地を推進します。
特に、平成 22 年度は今後成長が見込まれる環境・エネルギー産業の立地・物流拠点化に重点的に取り組めます。

(- 1 ・ 新規)	グリーンエネルギーポートひびき立地促進事業	22,347 千円
(- 3)		
(- 1 ・ 継続)	企業誘致活動事業	15,766 千円
(- 1 ・ 継続)	響灘東埋立地整備事業 (港湾特会) (再掲)	326,000 千円

(10) 空港の利用促進・集客対策

北九州空港の利用促進・集客対策を図ることで、利用者の獲得・増加を目指すとともに、平成 22 年の羽田枠拡大時の東京路線の増便や新規路線の開設に繋がります。また、併せて空港利用圏域の自治体と連携した利用促進を図ります。

(- 2 ・ 継続) 北九州空港利用促進・集客対策事業	102,818 千円
-------------------------------	------------

(11) 新規空港路線開設のための誘致活動

国内路線は、既存路線の維持・新規地方路線の開設を目指します。
国際路線は、アジアのゲートウェイとして北九州空港が機能するように、定期便就航に向け、誘致活動を展開します。

(- 2 ・ 継続) 北九州空港路線誘致事業	66,400 千円
--------------------------	-----------

(12) 航空貨物拠点化推進

24 時間運用、税関・検疫空港の指定など、北九州空港の特長を活かし、定期便やチャーター便によって国内外の航空貨物取扱いの実績を重ね、北九州空港が航空貨物の拠点として機能していくことを目指します。

(- 2 ・ 継続) 北九州空港航空貨物拠点化事業	45,094 千円
-----------------------------	-----------

(13) 空港アクセスの利便性向上

北九州空港へのアクセスの利便性の向上のため、エアポートバスの運行補助やアクセス鉄道の実現に向けた調査を行います。

(- 2 ・ 継続) 北九州空港アクセス事業 240,000千円

2 市民の憩う「みなとまちづくり」の推進

(1) 効果的な港の振興・PR事業

市民に船舶の公開や、クルーズ客船の誘致などを実施します。

(- 4 ・ 新規) アジアクルーズ・日韓フェリー航路誘致事業 2,000 千円

(- 4 ・ 継続) 北九州港市民 PR 事業 15,250 千円

(2) 魅力ある都市空間の創出

臨海部において、門司港レトロ観光プランなどと連携して、都市の魅力を高める施設を整備します。

(- 4 ・ 継続) 旧大連航路上屋改修事業 350,000千円

(3) 市民参加による魅力的な水際線づくり事業

計画策定から施設整備、利活用までの様々な段階で市民参加を図り、多くの市民が訪れる魅力あふれる水際線づくりを推進します。

(- 1 ・ 継続) 港湾環境整備事業 (再掲) 110,000 千円

(- 1 ・ 継続) 市民参加による魅力的な水際線づくり事業 3,800 千円

(4) 市民参加による洞海湾の環境修復検討事業

洞海湾において、ムラサキイガイを使った市民参加による環境修復体験教室を実施するとともに、市民が気軽に洞海湾に親しむことができる水辺環境の実現に向けて、干潟の活用や藻場造成などの新たな環境修復手法の検討を進めます。

(- 1 ・ 継続) 市民参加による洞海湾の環境修復検討事業 3,800 千円
(- 1 ・ 継続)
(- 4 ・ 継続)

3 効率的で安全・安心な港湾経営の実現

(1) 計画的かつ効果的な港湾施設整備・維持補修の実施

港湾施設の効率的な運営を行うため、維持管理計画を策定するとともに適切な整備・修繕を実施します。また、施設を有効活用するため、限られた経費を集中的に配分のうえ、中長期的な視野に立った取組みを実施することにより、維持管理に係るトータルコストを削減します。

(- 3 ・ 継続) 港湾改修 (統合補助) 事業	300,000 千円
(- 3 ・ 継続) 港湾施設営繕費	209,484 千円
(- 3 ・ 継続) 港湾施設維持管理 (長寿命化) 計画策定事業	11,797 千円
(- 3 ・ 継続) 機能施設維持費 (港湾特会)	497,764 千円

(2) 既存港の効率化推進・機能強化

ひびきCTを含めた北九州港全体としての利用促進を図るため、既存港の機能強化・振興策の実現に取り組みます。また、港運業者などの埠頭利用者として設立した協議会で検討した施設の集約・転用を具体化し、既存の港湾施設の効率的な利用を図ります。

(- 3 ・ 継続) 利用しやすい港づくり懇話会運営事業	401 千円
(- 3 ・ 継続) 既存CT効率化推進事業	4,708 千円
(- 3 ・ 継続) 既存施設の集約化促進検討協議会運営事業	1,940 千円

(3) 効率的で安全・安心な施設管理運営の促進

業務運営の効率化と経費削減を図るため、IT化の推進を図るとともに、港湾施設の管理運営業務等の委託について、業務内容の見直しを図り委託のあり方等について検討します。また、安全・安心な施設運営を図るため保安対策等を実施します。

(- 3 ・ 継続) 港湾情報システム保守管理委託事業	30,998 千円
(- 3 ・ 継続) 次世代シングルウィンドウに係る港湾情報システム改修事業	25,200 千円
(- 3 ・ 継続) 北九州市港湾施設管理運営業務委託事業	113,337 千円
(港湾特会)	31,974 千円
(- 3 ・ 継続) ひびきコンテナターミナル施設管理事業 (港湾特会)	421,139 千円
(- 3 ・ 継続) 港湾施設保安対策事業 (施設管理)	202,800 千円

(4) 港湾整備特別会計の収支状況の改善

港湾整備特別会計の収入強化を図るため、分譲及び貸付による企業誘致活動に取り組みます。また、港湾整備特別会計の経営安定化を図ります。

4 市民・企業・NPO等との協働した事業展開

CO2削減のために、企業と協働して、北九州港を利用した輸送手段の転換等を実施します。

また、市民の参画により、魅力的な水際線づくりや洞海湾の環境修復に取り組みます。

(-2・継続・拡充 -2・継続・拡充)	モーダルシフト推進補助事業(再掲)	19,800千円
(-2・新規 -2)	北九州港を利用した物流改善支援事業(再掲)	10,000千円
(-1・継続)	市民参加による魅力的な水際線づくり事業(再掲)	3,800千円
(-1・継続 -1・継続 -4・継続)	市民参加による洞海湾の環境修復検討事業(再掲)	3,800千円

4 事務事業の見直し等

(1) 港湾施設に係る維持管理経費の見直し

港湾施設の維持補修に係る経費について、日常的に発生する「補修経費を確保のうえ、本来的な機能回復を図るための「修繕」について、対象箇所を集中・選択的に見直しを行うことで事業費の削減を図ります。

〔見直し額：17,081千円〕

(2) 港湾施設管理運営業務委託の見直し

業務内容と人員配置の見直しを行い、事業費の削減を図ります。

〔見直し額：4,041千円〕

(3) 各種調査経費の削減

各事務事業の一体的な見直しを行うことにより効率化を図り、事業費を削減します。

〔見直し額：11,787千円〕